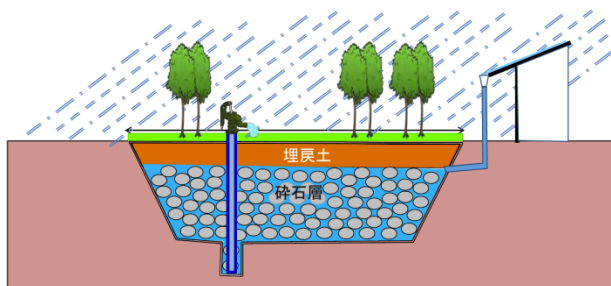


福岡の技術がインドネシアを洪水から救う！

～雨水貯水地下タンクで洪水対策と雨水再利用を推進～

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社大建(福岡県福岡市、松尾 憲親 代表取締役)が提案する「雨水貯水地下タンクを活用した洪水対策・雨水再利用のための案件化調査」(インドネシア共和国)を採択しました。

インドネシアのジャカルタ首都圏では、人口増加、緑地開発・都市域の拡大に加え、雨水流出量の増大と、地下水の過剰な汲み上げ、地盤沈下を要因とする洪水被害が恒常的に起こる等、複雑な都市問題を抱えています。同社が九州大学と開発した雨水貯水地下タンク「ためとっと」は、雨季の雨水流出増に対する流出抑制の役割が期待できることに加え、タンクに碎石層を敷き雨水を浄化することで、飲料水並みの水質を確保できるため、安心して利水が可能です。本調査では、インドネシアでの浸水被害軽減と乾季の水不足解消に対する「ためとっと」の有効性を確認します。



ためとっと施工例



洪水で浸水した様子(インドネシア)

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2017 年度第 2 回分は昨年 9 月に公示を行い、33 件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2017 年度第 2 回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 市民参加協力課 民間連携担当 大園、山下
TEL : 093-671-8204 E-mail : Ozono.Momomi@jica.go.jp